

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東
 コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,046	2.8	128	△45.6	219	△13.1	151	△5.8
2021年3月期第3四半期	4,907	13.7	235	393.2	252	264.9	160	290.6

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 153百万円 (△22.6%) 2021年3月期第3四半期 197百万円 (669.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	36.29	—
2021年3月期第3四半期	38.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	5,617	2,028	36.1	486.07
2021年3月期	5,378	1,920	35.7	460.17

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 2,026百万円 2021年3月期 1,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,778	5.6	146	△44.8	210	△27.2	130	△23.5	31.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）有限会社あきかわ牛乳

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	4,179,000株	2021年3月期	4,179,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	9,877株	2021年3月期	9,877株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	4,169,123株	2021年3月期3Q	4,169,123株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染者が減少し、経済活動は持ち直しの動きが見られていたものの、原油をはじめとする輸入価格の高騰に加え、新たな変異株の感染拡大の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。その一方で、感染予防意識の高まりや自治体による外出自粛要請等により、食材の宅配サービスに対する需要は高水準で推移しております。

当社グループにつきましては、2020年4～5月の1回目の緊急事態宣言発出時の急激な販売増加の反動の影響により、前年対比では生産卸売事業の鶏肉の販売が減少しましたが、直販事業の販売が好調に推移したため、全体の売上高は増加いたしました。利益面につきましては、飼料価格の値上がりや、直販事業における会員募集費の積極的な投入、間接部門における販売費及び一般管理費の増加等により減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、50億46百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は1億28百万円（前年同期比45.6%減）、経常利益は2億19百万円（前年同期比13.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億51百万円（前年同期比5.8%減）となりました。（なお、営業利益が経常利益と比較して少額となっておりますが、飼料価格の高騰時に備えた安定基金からの補填金収入（87百万円）を営業外収益で計上していることが主な要因であります。）

セグメントの業績は次のとおりであります。

(生産卸売事業)

生産卸売事業につきましては、主な販売先である生活協同組合及び宅配会社において、新型コロナウイルスの影響で需要は引き続き高水準で推移しており、冷凍加工食品及び鶏卵の販売は増加いたしました。しかしながら2020年4～5月の急激な販売増加の反動の影響により、鶏肉の販売が前年を下回ったため、生産卸売事業全体の売上高は微減となりました。利益面につきましては、飼料価格の値上がりや、鶏肉一次処理場の歩留率の低下等により減益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、38億9百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は3億63百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

(直販事業)

当社の食を中心とした安心・安全な食品を全国の個人の消費者に直接お届けする直販事業につきましては、新型コロナウイルスの影響や会員募集費の積極的な投入等により、首都圏を中心に会員数が順調に伸長したため、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、会員獲得に向けた会員募集費の積極投入や、運賃やピッキングコスト等の販管費率の増加により減益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、12億36百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は34百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、2億38百万円増加し、56億17百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が2億72百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加し、35億89百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億8百万円増加し、20億28百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	926,888	631,922
受取手形及び売掛金	702,967	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	975,503
商品及び製品	274,925	243,252
仕掛品	164,305	289,587
原材料及び貯蔵品	78,173	235,501
未収入金	119,352	69,942
その他	47,079	64,687
貸倒引当金	△3,390	△3,787
流動資産合計	2,310,301	2,506,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,060,644	1,111,129
機械装置及び運搬具（純額）	482,606	467,461
土地	1,022,570	1,022,570
建設仮勘定	64,077	110,420
その他（純額）	115,934	108,987
有形固定資産合計	2,745,833	2,820,570
無形固定資産		
のれん	16,113	13,377
その他	25,381	20,334
無形固定資産合計	41,494	33,711
投資その他の資産	280,864	256,576
固定資産合計	3,068,193	3,110,858
資産合計	5,378,494	5,617,469
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	399,605	406,593
短期借入金	1,009,341	1,108,635
リース債務	7,129	7,208
未払法人税等	102,757	5,744
賞与引当金	38,900	63,748
その他	413,752	506,028
流動負債合計	1,971,486	2,097,958
固定負債		
長期借入金	1,119,117	1,117,633
リース債務	21,019	15,602
繰延税金負債	5,675	3,303
退職給付に係る負債	275,532	285,182
役員退職慰労引当金	65,527	69,419
固定負債合計	1,486,872	1,491,141
負債合計	3,458,358	3,589,100

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	589,388	695,778
自己株式	△5,880	△5,880
株主資本合計	1,851,099	1,957,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,405	69,007
その他の包括利益累計額合計	67,405	69,007
非支配株主持分	1,630	1,871
純資産合計	1,920,136	2,028,368
負債純資産合計	5,378,494	5,617,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	4,907,415	5,046,197
売上原価	3,576,646	3,723,161
売上総利益	1,330,769	1,323,036
販売費及び一般管理費	1,095,390	1,194,974
営業利益	235,379	128,062
営業外収益		
受取利息	179	132
受取配当金	1,243	1,315
補填金収入	15,852	87,338
補助金収入	3,496	2,460
その他	5,714	7,920
営業外収益合計	26,485	99,167
営業外費用		
支払利息	8,975	8,197
その他	840	—
営業外費用合計	9,816	8,197
経常利益	252,048	219,032
特別利益		
固定資産売却益	1,408	2,455
受取保険金	6,324	—
補助金収入	—	4,299
特別利益合計	7,733	6,755
特別損失		
固定資産売却損	564	974
固定資産除却損	390	833
固定資産圧縮損	—	4,299
災害による損失	3,945	—
特別損失合計	4,900	6,107
税金等調整前四半期純利益	254,881	219,679
法人税、住民税及び事業税	99,582	46,574
法人税等調整額	△5,651	21,556
法人税等合計	93,931	68,131
四半期純利益	160,950	151,548
非支配株主に帰属する四半期純利益	403	241
親会社株主に帰属する四半期純利益	160,547	151,307

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	160,950	151,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,864	1,602
その他の包括利益合計	36,864	1,602
四半期包括利益	197,814	153,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,411	152,909
非支配株主に係る四半期包括利益	403	241

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった有限会社あきかわ牛乳は、2021年7月1日に当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である有限会社あきかわ牛乳については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行ってまいりました。

2021年7月1日を効力発生日として、当社が同社を吸収合併することを決定したことを契機に、より適切な連結財務諸表の開示を行うため、第1四半期連結会計期間より連結決算日に本決算に準じた仮決算を行う方法に変更しております。

この変更により、当第3四半期連結累計期間は、2021年1月1日から2021年6月30日までの6か月間を連結しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました、販売手数料等の顧客に支払われる対価の一部について、取引価格から減額する方法に変更しております。なお、変動対価が含まれる取引については、その不確実性が事後的に解消される際に、収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り、取引価格に含めております。

また、有償支給取引について、従来は有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,515千円、販売費及び一般管理費は22,933千円それぞれ減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,417千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は3,226千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	3,824,688	1,082,726	4,907,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	311,734	5,644	317,379
計	4,136,423	1,088,371	5,224,795
セグメント利益	441,076	44,072	485,148

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	485,148
のれんの償却額	△2,736
全社費用（注）	△247,033
四半期連結損益計算書の営業利益	235,379

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	3,809,627	1,236,569	5,046,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	311,914	4,503	316,417
計	4,121,542	1,241,073	5,362,615
セグメント利益	363,058	34,145	397,203

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	397,203
のれんの償却額	△2,736
全社費用（注）	△266,404
四半期連結損益計算書の営業利益	128,062

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

2021年12月に、当社の連結子会社である(有)菊川農場の生産農場におきまして、高病原性鳥インフルエンザの陽性が確認され、行政関係機関の指示の下、ブロイラー約6万7千羽の殺処分を行っております。

現時点ではこの殺処分に伴う損失を合理的に見積もることは困難な状況ではありますが、当該損害に対しては家畜伝染病予防法に基づく手当金が交付されるため、当連結会計年度の業績に与える影響は軽微であると判断しております。